

一般質問

・教育環境等について



河原崎 恵士

問

小中学校の通学路の整備についての基本的な考え方は

答

「御前崎市子供の移動経路に関する交通安全プログラム」を策定し、交通安全対策を推進しています。通学路については各小学校で「交通安全リーダーと語る会」を開催し、危険箇所を把握しています。危険箇所は児童と保護者、教職員、警察、交通安全指導員、危機管理課が共有し総合的に対策しています。

ながら地域の資源を生かして地域振興を図っている例がありました。

池新田高校も本年度から「グローカーハイスクール」に指定されましたので地域と協働して地域課題解決の探求を行うようになると思われれます。

「グローカーハイスクール」

グローバルな視点をもって地域課題の解決に挑む提言や実践を行う高等学校。グローカーとは、グローバルとローカルをかけた造語。



問

池新田高校への支援について

答

授業・部活動での市の施設の提供など教育環境の向上に力を注いでいます。また、本年度から体育の授業でマリンスポーツへの支援・協力も開始し、更に2学期には静岡カントリー浜岡コースや県ゴルフ協会の支援を得て、ゴルフも行われます。

他の地域の事例で高等学校への直接的な支援は、コーディネーターを派遣し、地元組織と連携し

ながら地域の資源を生かして地域振興を図っている例がありました。

一般質問

・今後の再生可能エネルギー活用施策について



齋藤 洋

問

国のエネルギー政策変更に対する市長の感想について

答

国は、現在、第6次エネルギー基本計画を策定中ですが、7月に公表された素案では、「原子力は重要なベースロード電源である」としつつ、「再生可能エネルギーを主力電源として最大限の導入に取り組み」と記されておりあります。したがって、脱炭素化に向けた取り組みがさらに加速するものであると考えます。

問

市の再生可能エネルギー活用施策として、「屋根貸し事業」を積極的に展開すべきと考えられるとともに、産業誘致策として、再生可能エネルギーを必要としている事業者に絞るべきと考え

答

検討します。

問

「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」の調査研究事項として、国内で不要となったパネルを、海運で搬入できるとともに、検査の結果、継続使用可能となった中古パネルを輸出できる御前崎港への「太陽光パネルリサイクル施設建設可能性調査」を国へ申請すべきと考える

問

市の施策として、今後は、再生可能エネルギーをもっと活用すべきでは

答

現在の「総合計画」あるいは「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた施策を継続的に実施していくとともに、再生可能エネルギーの活用につきましても、「御前崎市エネルギービジョン」に基づき事業を展開してまいりたいと考えます。

答

現段階では、そのような可能性調査を国へ申請する考えはございません。

再生可能エネルギーをもっと活用すべきでは

現在の「総合計画」あるいは「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた施策を継続的に実施していくとともに、再生可能エネルギーの活用につきましても、「御前崎市エネルギービジョン」に基づき事業を展開してまいりたいと考えます。